

# News Release

---

09-001

2009年4月16日

## 北海道夕張市における原料生薬の生産・加工・保管拠点設置について

### 株式会社ツムラ

株式会社ツムラ（本社：東京、社長：芳井順一）では、このたび北海道夕張市に漢方製剤の原料となる生薬の生産・加工・保管拠点を設け、北海道における原料生薬の栽培を拡大することとしましたので、お知らせします。

#### 1. 北海道夕張市に生産・加工・保管拠点を設置する理由

①当社は、漢方・生薬への重点化と集中化を進め、「漢方医学の確立」を目指すと共に、「育薬\*」を推進してまいりました。その結果、漢方製剤の売上は、数量ベースで年間約10%の伸びを示しております。

このような状況を踏まえ、国内の生薬栽培の拡大について検討を重ねてまいりました。現在、国内においては北海道を含め5ヶ所の栽培拠点がありますが、北海道については、機械化による大規模栽培により、生薬コストの削減が期待できることから、夕張市に生薬の生産・加工・保管拠点を設け、北海道における原料生薬の栽培を拡大することとしました。当社では、すでに千歳に生薬の乾燥場を保有しておりますので、夕張の拠点と連携することで、さらに、効率化を図ってまいります。また、夕張市においては、自社農場を持つことも予定しております。

②夕張市は地理的にみると、近くに高速道路があり、札幌、新千歳空港、苫小牧港にも近く、北海道の各栽培地から原料生薬を運び、加工・保管し、当社工場に出荷することに対して利便性があると考えております。また、夕張市を北海道におけるツムラの拠点とすることで、少しでも経済的な地域貢献に繋がればと考えております。

#### 2. 原料生薬の栽培面積と量及び保管について

北海道全体の栽培面積は、10年以内に約1,000ヘクタール、生産量は2,000トンの計画です。また、北海道で栽培された生薬は、全て夕張に運び、加工・保管する計画です。

\*育薬：医療ニーズの高い領域において、西洋薬で治療が難しい疾患で、漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に対して、漢方製剤の基礎・臨床の科学的データを集積すること。